

(協)遠野グルーラムの在庫ラミナの適正化について

協同組合遠野グルーラムは、遠野地域木材総合供給モデル基地において大断面集成材を製造している事業体です。

公共事業の縮減が続く中で苦しい経営状況が続いていますが、コンサルタント等の指導に基づく経営体質の改善とともに生産現場での5S活動の強化などコスト削減の指導に努めてきたところです。

ラミナ原板からの大断面集成材の生産歩留は、5割前後と低いことから、これを6割に高めることを目標に、ラミナの仕入れや在庫管理をより適切に行うことが、さらなるコスト削減の上で重要な課題となっています。

今年度のグルーラム経営改善の柱として、9月末の上半期における棚卸の機会に山火中小企業診断士、東野首席林業普及指導員の支援を得て、市役所との協働により在庫ラミナの品質評価を中心とした調査を実施しました。

在庫ラミナは年間消費量の約4割に相当する1,700m³と大量であり、全量の品質調査は出来ませんでした。管理状態等により変色、曲がりなど品質劣化しているものがありました。これらを適正に評価し、保管・整理方法の改善、早期の使用や処分により、品質向上とコスト削減につながるよう指導を行ないました。



ラミナ在庫の調査(棧木の入れ方)



理事も出席して在庫調査結果を確認